

特別支援教育部会だより

部会の皆様には、ご多忙な毎日を送られていることと存じます。昨年度のアンケート結果を基に、今年度についても前半は全ての分科会で「小グループでのレポート交流」を、後半は第1・第2分科会では「ワークショップ研修」を、第3分科会では「テーマ別の交流研修会」を運営していく予定です。今年度も部会員の皆様のご協力を、心からお願いいたします。

研究課題	通常学級の個別の教育的配慮を要する児童生徒一人一人のニーズに 応える教育的支援はどうあればよいか。
研究内容と キーワード	第1分科会「通常学級における学習に困難のある児童生徒への支援」 ・読み、書き、計算 ・学習準備の困難、忘れ物等 ・注意散漫、離席等
	第2分科会「通常学級における社会性に発達の違いやコミュニケーションに 障害があり、主に集団での生活場面に困難のある児童 生徒への支援」 ・ルールの理解 ・こだわり ・自傷、他害 ・破壊行為 ・被虐待児等
	第3分科会「通常学級の特別の支援を要する児童生徒の校内支援体制や、 関係機関との連携」 ・就学指導、進路指導（幼小中高の連携） ・医療機関等の関係機関 との連携 ・教育相談のあり方 ・担任、コーディネーターとして の役割 ・校内の支援体制

役員体制

- ・部長：大石篤史(東部小) ・副部長：吉崎真由子(大麻中)
- ・事務局長：工藤正人(恵庭小) ・事務局次長：小泉しのぶ(大麻東小)
- ・事務局長：岡本光恵(文京台小) 太田亜弥(野幌若葉小) 古山 順子(大麻中)
- 藤枝理恵(恵庭柏小) 足立敬(緑苑台小)
- ・研究員：伊藤千織(当別中)

☆今年度もよろしくお祈りいたします。

実践交流レポート作成について

- ※A4版・両面印刷・横2穴・ページ数の制限なし（ページ番号は「学校名-番号-」で）
- ※部数など、詳細は後日連絡いたします。
- ※「1人1レポート」が基本ですが、校内のグループや学年でまとめて一つにしても結構です。
- ＜事例提供者は、個人レポート免除！＞～詳細は下記を参照下さい。
- ※レポートの内容として・・・参考にして下さい。
- ☆児童・生徒の主訴に基づいた支援とその成果・課題 ☆実践上の行き詰まりや悩み相談
- ☆関係機関との連携や、医療機関・支援機関の紹介 ☆教材教具や書籍などの紹介
- ☆特別支援学級の先生は、「通常学級でも可能な支援方法」の実践例や紹介など

事例提供者大募集！

第1分科会・第2分科会では、レポート交流の後の研修会を「ワークショップ形式」で行っています。日常実践の中での悩みや困り感を「実践事例」として提供していただき、参加者一人一人が問題解決の当事者の立場で考える、主体的・積極的な研修です。毎年、小・中それぞれに実践事例を提供していただいています。今年も募集します。期限付きの方からベテランの方まで、どなたでも受け付けます。「こんなことで困っているのだけど」「こんなときはどう対処したらいいの？」を、5分程度で紹介していただくだけです。お気軽にお申し出下さい。先着4名様！6月13日(火)申し込み締め切りです！

詳細の問い合わせ、および申し込みは 事務局 工藤(恵庭小)まで
Tel (0123) 32-3288 Fax (0123) 32-3289